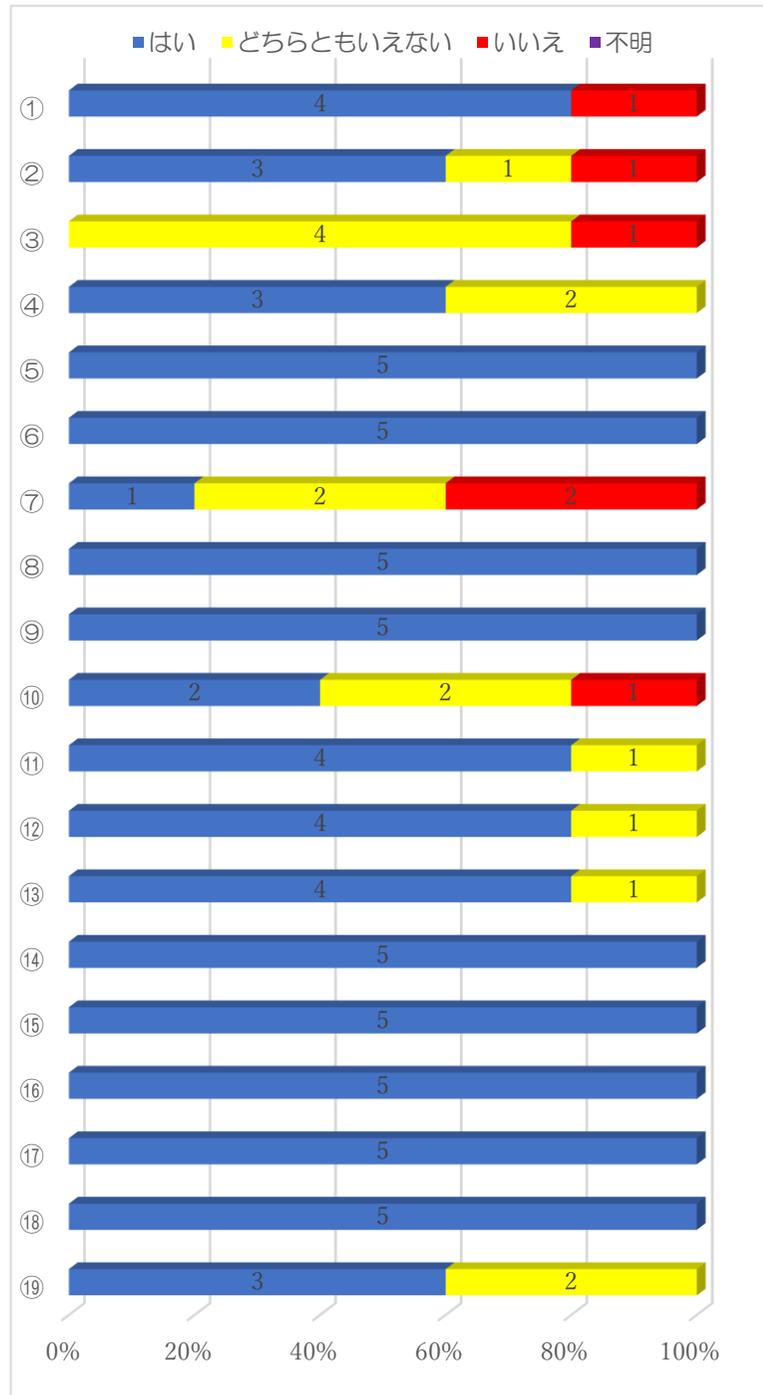


2023年度 | Room 亀田 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

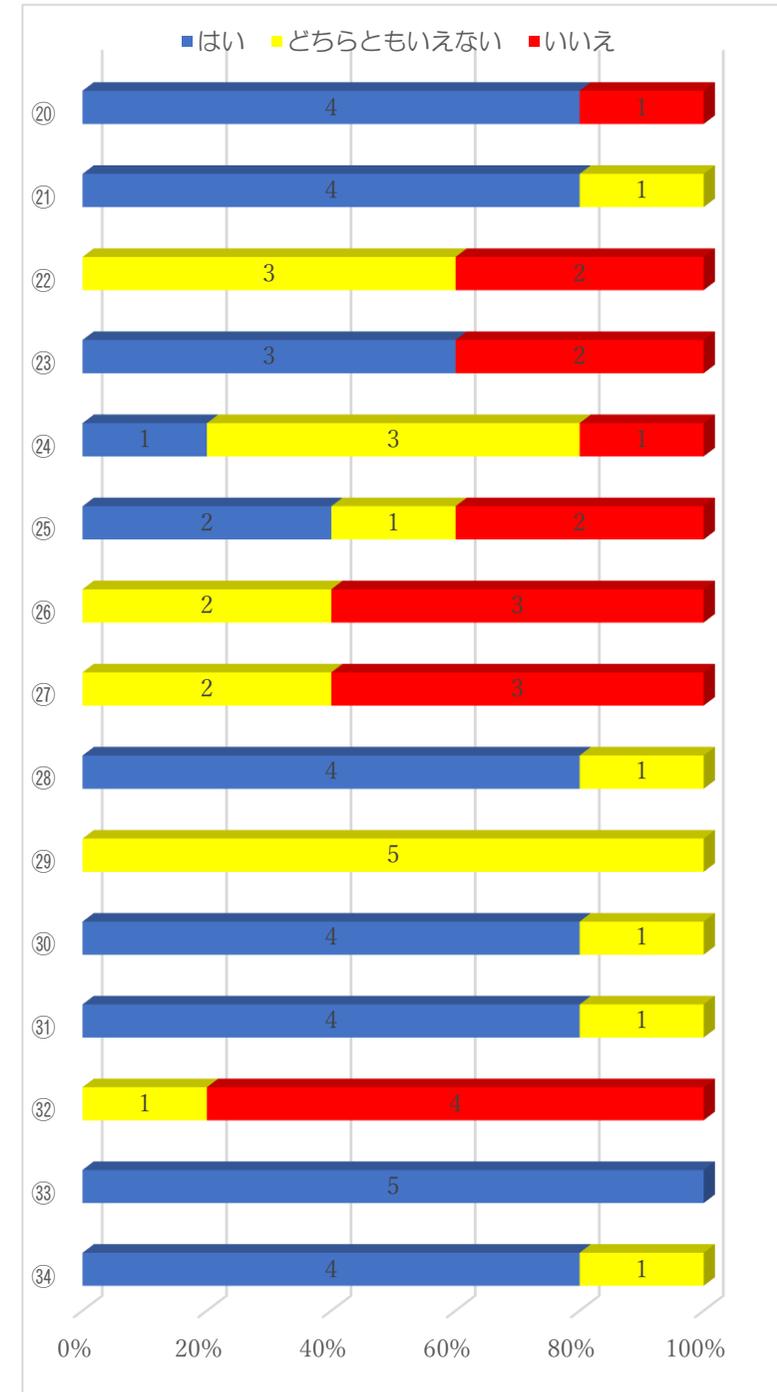
	No.	チェック項目
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか
	②	職員の配置数は適切であるか
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか



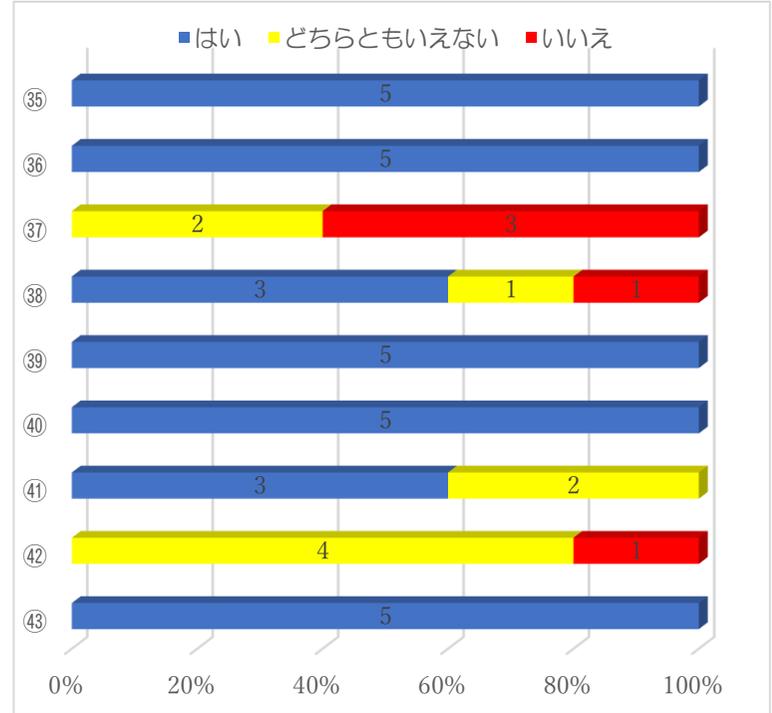
No.	チェック項目
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか
⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか
㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか
㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか
㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等



No.	チェック項目
保護者への説明責任等	③⑤ 個人情報に十分注意しているか
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っているか
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
	④① 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
	④② どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか
	④③ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
	④④ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか



No.	改善目標、工夫している点など
②	・不安だと感じた日は、利用者の活動拒否や不穩、癇癢対応を行う想定で予定を組むよう心がけている。
③	・玄関に段差があり、現状は問題ないが将来的にはバリアフリー化の必要性があるかもしれない。
④	・毎月の支援会議等で改善案の検討、振り返りがなされている。
⑧	・定期的に社外、社内研修に職員の派遣がなされている。
⑨	・利用者とその保護者の要望を少しでも多く取り入れることができるよう、計画を作成している。
⑮	・朝礼が行われている。
⑯	・終礼が行われている。
⑰	・日誌の記録が行われている。また、R5.4月の支援会議において、日誌の書き方について職員間での共有が行われた。
⑳	・情報共有に携わっていない。担当となった場合、必要に応じて積極的に情報共有に努めたい。
㉑	・対象の利用者がいる場合、積極的に情報の提供を行いたい。
㉒	・外出先などで障害のない子どもと多少は関わる機会があったが、十分では無いかもしれない。 ・公園へ出かけた際に障害のない子どもたちと関わる場面が何度か見受けられたが、活動として設定はできていないため、今後取り入れてみたい。

②⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を用いた情報共有が少なかったため、頻度を増やしていきたい。 ・送迎時やモニタリングの際に詳しく話を聞き取っている。
③⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身、十分に説明できていない部分がある。
③①	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば会議を開催している。
③④	<ul style="list-style-type: none"> ・月の活動の様子や職員紹介、今後の行事予定等、会報内容を分かりやすく発信できるよう工夫している。 ・広報誌を定期的に発行したり、SNS を通じて様子を発信している。
③⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・肖像権同意書等を活用しながら個人情報に留意している。
③⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・職員には周知しているが、保護者までは周知できていない
③⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災、洪水等、年 4 回の避難訓練を行っている。 ・今年度は 4 回避難訓練を行った。
④⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の支援会議の中で協議している。
④②	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、アレルギーのある利用者はいないが、今後利用となった際には対応を積極的に行いたい。 (エピペンの使用の仕方等を研修に盛り込む)
④③	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットについては朝礼や終礼を通じて共有している。 ・支援会議において定期的に共有が行われている。